

2011 SDT 技術交流会

クラシックギターの 高周波域での音質について

2011.12.16

芝浦工業大学 ○永海 雄太
岡村 宏
武蔵野研 金沢 純一



研究背景

クラシックギター作りは、職人の勘や経験に基づいた、手作業がほとんどである。

問題点

- ・ 伝統の継承が難しい。
- ・ 明確な音の評価基準がない。



工学的アプローチと、職人の技術の組み合わせを図る。

研究対象のギター



Sakurai Special

- ・ 1988年第4回パリ国際ギター製作コンクールで第一位を受賞
- ・ 艶やかな音を奏でる
- ・ 低音での音量が物足りない



表面板

音の鳴り方

